

飯豊珪砂

オタワサンド

石英は一般に円磨度が高く 双眼顕微鏡下でみると磨耗のために表面がすりガラスのようになり 肉眼では乳白色に見えるものが多い。まれに両錐石英が含まれたり 偏光顕微鏡下では 火山岩中に多い融蝕構造をもつ石英がみられる。全般に包有物はなく ほとんど単結晶からなるものが多く わずかに集合体のものがみられることもある。透明度の強いものは角ばったものが多い。

む す び

わが国の珪砂の生産量は 昭和41年では約260万トン

で その消費内訳はガラス関係59% 鋳物用35% 珪酸ソーダ用3% その他3%となっており 消費量が生産量を若干上まわっており 不足分は輸入によってまかなわれている。

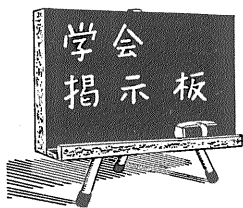
山形県下で良質の珪砂が発見されたことは 瀬戸地区の寿命を延ばすという意味の外に さしあたり毎年不足していく分をまかない得るということに非常に大きい意義があり すばらしい発見の一言につきると思われる。

品質は全く心配なく 鉱量もすでに約1,200万トン(その他130万トンの粘土)が確保され 今後さらに調査が進むにつれ

て鉱量が増大することは必至である。

ここに大きな問題となることが一つある。それは約5ヵ月間降雪になやまされることである。採掘は可能であるかもしれないが トラックによる運搬はその間ストップせざるをえない。したがって夏期は索道か(不可能かもしれないが)ベルトコンベアのいずれかを使ってトラックと平行させて輸送したならば あるていど解決をみるのではないだろうか。

(筆者は鉱床部 燃料部 ※山形県鉱業研究所)



・日本分光学会

1. 昭和43年11月6日 (水)～8日(金)
2. 第4回応用スペクトロメトリー 東京討論会
3. 東京都立産業会館 (千代田区大手町1-2)
4. 応用物理学会・質量分析学会・日本

化学会・日本分光学会・日本分析化学会

5. 東京都渋谷区本町1-1-5 東京工業試験所内 社団法人 日本分析化学会気付 東京討論会実行委員会 Tel. (03) 377-5211 内線 310

・日本地質学会

1. 昭和43年9月27日(金)～29日(日)
2. 第75年秋季大会
3. 清水市折戸 東海大学海洋学部
4. 日本地質学会
5. 東京都文京区 東京大学理学部地質学教室内

日本地質学会 Tel. (03) 814-0549

・三 鉱 学 会

1. 昭和43年10月12日(土)～14日(月)
2. 秋季連合学術講演会
3. 岡山市津島 岡山大学
4. 日本鉱物学会 日本岩石鉱物鉱床学会 日本鉱山地質学会
5. 東京都中央区銀座西8-7 日本鉱業会館 日本鉱山地質学会 Tel. (03) 573-3997

・日本原子力学会

1. 昭和43年8月1日(木)～3日(土)
2. 日本原子力学会第7回資源探査現地討論会
3. 土岐市 市民ホール(土岐市役所内)
4. 日本原子力学会
5. 土岐市肥田町浅野 動力炉・核燃料開発事業団 東濃探鉱事務所 中村頼三 Tel. (05725) 4-1271

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場  
4. 主催者 5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)